

# 令和3年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 港北国際交流の会

## 1. 事業の成果

令和3年度港北国際交流の会は、港北区からの委託事業の運営と港北国際交流の会として自主事業を実施しました。2015年港北区からの委託業務開始以来6年経過し、その会員数は令和3年度末現在235名となり組織的運営を行っています。

昨年度は2000年9月に運営委員会として開設以来の節目にあたり、在住外国人、近隣住民、「港北国際交流の会」のボランティア会員、職員の絆がより一層深まるよう設立20周年記念事業を行う予定でしたが、新型コロナウイルス拡大により今年度に延期となり、その行事の大きな柱として2つを実施しました。一つには「ボランティア20年永年表彰」です。本来は10月に予定されていた「ワクワクまつり」に併せて記念式典としてリアルで演奏や港北区長からの祝辞をいただき、一同に会しての実施予定でしたが、コロナ禍にあって、形を変え、各部会、並びに曜日クラス毎での表彰式となりました。2020年度30名及び2021年度4名の計34名の方々が各部門で20年間長期に亘り継続して活動していただきました。また併せて10年表彰も同時に実施し、2021年度8名の方が表彰されました。ここに改めて長年の献身的な貢献に敬意、感謝申し上げます。

二つ目には20年間の証としての記念誌「虹色ハーモニー」を11月に1,000部発刊致しました。ご尽力いただいた編集委員、投稿いただいた多くの諸先輩並びに現役会員、学習者等の関係者総ての皆さまに改めて厚く御礼申し上げます。

一昨年来の新型コロナウイルス感染拡大により今年度もラウンジ全体の日常活動において多くの活動が余儀なく影響を受けた1年間でしたが、ボランティアをはじめ、すべての利用者に感染対策に伴う利用制限、検温、消毒等多大なるご理解とご協力いただき改めて御礼申し上げます。

デジタル化、オンライン化は進化しつつも、人数、開館時間、定員人数の長期利用制限等により全体としての教室活動、各種イベント等、縮小、延期、中止を含め予定どおりには実施出来ませんでした。昨年度に比べれば多少は増加したものの未だ2年前に比べ低い数字です。

年度利用人数は17,161人（前年8,758人・196%、前々年29,066人・59%）でした。その内外国人利用者は4,507人（前年1,930人・234%、前々年11,353人・40%）、日本人利用者は12,654人（前年6,828人・185%、前々年17,694人・72%）でした。窓口での相談案件（来館及び電話等）は件数ベースで、外国人277件（前年170件・163%、前々年602件・46%）、日本人394件（前年416件、前々年508件）です。合計671件

(前年 586 件・115%、前々年 1,110 人・60%) でした。

多言語相談窓口としては英語、中国語、ベトナム語、台湾語、韓国語の 5 か国語です。市民ボランティア、語学ボランティア通訳派遣は 小学校、中学校、区役所など引き続き派遣制限に伴い 89 件 (前年 49 件・182%、前々年 191 件・47%) の実績です。また、窓口スタッフ人材育成は相談案件対応力、デジタル人材育成をテーマに 3 回実施しました。

日本語教室は特に人数制限等の影響がありましたがクラス数は確保し、合計 326 日 (前年 149 日) のクラスを開講し、延べ 3,201 人 (前年 1,188 人・269%、前々年 8,155 人・39%) の外国人が参加。延べ 3,832 人のボランティアがコロナ禍、熱心に日本語学習支援を行っていただきました。養成講座は 1 年ぶりに実施し 45 人の申し込みがあり、最終的に 19 人の方が全 5 回受講され 4 月より活動することになります。また有資格者も 21 名が登録されました。

ボランティアに対する日本語ブラッシュアップ講座は 3 回実施し 24 人の参加があり、日本語学習支援のスキルアップを図っています。

開講して 9 年目となる日本語能力試験の受験対策専門講座 (N1, N2, N3) は前期、後期とも開催し、受講者数 27 名 (前年 9 名) で各 24 回合計 126 回開講しました。受験者 19 名の内判明分として N2 の 4 名が合格となりました。

「ニューカマー子どもの教室」では、漢字や計算等基礎学習の充実、高校受験対策強化、学校や保護者との連携等を重点目標として、人数制限の中 20 人のボランティアが毎週土曜日に日本語を母語としない児童生徒 20 人に対して学習支援を行ってきました。なかでも、中学 3 年生対象に高校受験対策を行い、本年度公立高校 2 名が無事合格しました。

地域住民を対象とした外国語教室は 7 講座 (英会話 3 クラス、フランス語 2 クラス、イタリア語、スペイン語) + 夏休み小学校英会話教室 2 クラスを行い全授業回数 239 回、120 人の方が受講しました。

ラウンジの一大イベントである「ワクワクまつり」は 10 月 10 日に開催予定でしたが、今年度もコロナ感染拡大に伴い、台風による中止も含めて 3 年連続のリアルでの開催は中止となってしまいました。今年度もコロナ感染防止策として「2021 ワクワクまつりオンライン」として 12 月 1 日から 14 日まで 2 週間の期間限定で YouTube で配信し動画を公開。「世界のファッションショー」、「リモートアンサンブル」、「日本語学習者による動画 (日本語スピーチ、うちのごはん、職場訪問など)」、「ニューカマー子どもの教室生徒の絵日記」、「ミニ外国語教室」、「Say hello」、「二胡コンサート」など 9 編の長編

作となり、視聴回数は総合計 3,300 回以上で、参加者も延べ 150 人余りにも上り各方面から好評をいただきました。

「2021 ふるさと港北ふれあいまつりオンライン」は外国人スタッフによる「ミニ外国語教室」動画を公開し参加しました。

国際交流イベントとして 3 回実施。「アロマクリームを作ろう」15 名参加、「二胡コンサート 25 名の参加、ニューイヤーコンサート「情熱のラテン音楽の集い」は大好評で 35 名の参加をいただきました。日本の伝統文化を楽しむ華道、書道、茶道の教室も今年度は計 9 回の予定が華道 2 回 6 名、茶道 3 回 18 名、書道 2 回 9 名 計 7 回実施し、参加合計人数は 33 名となりました。2 月予定していたイベント 1 件が 4 月に延期されました。

当ラウンジの外国人スタッフによる国際理解教室は 8 月予定の小学生の国際理解教室「知りたいアジアの小学校」は 3 月に延期して実施し 10 名の参加がありました。

「多文化ママカフェ」は、日本で子育てに奮闘している若い外国のママたちが子どもを連れて気軽に集まり、日本語、英語、中国語等で悩みを相談したり、時宜を得た話題等を提供したり交流を図ることを目的に開催しており、一部オンラインでも実施し計 20 回各平均 6 組の参加者がありました。

6 月に実施した英語講師による「英国についてのお話」のイベントでは、同時に慶応大学の「KEIO 2020 project」ともジョイントしハイブリッドで初めて実施し、対面 15 名、オンライン 20 数名の参加がありました。また国際局には、ホストタウンのリーフレットや facebook 掲載のご協力をいただきました。

情報広報活動として、広報誌「そよ風」を年 4 回発行し最終は No. 128 号です。日本語を学習する外国人やボランティアの方の活動を紹介し、地域の皆さまにラウンジの存在を PR するとともに、より広くラウンジの活動を理解していただくことに継続的に努めております。

ホームページ、フェイスブックにはイベントのお知らせや実施状況などタイムリーな情報をスタッフが掲載し、HP では日本語、英語、中国語、ベトナム語、韓国語で対応しています。

ラウンジ運営や事業実施に於けるリモート化促進では特に日本語クラスで活用され、合計 183 クラス、1 クラス平均 3 人の受講者数があり、延ボランティア数は 436 人に昇りました。ブラッシュアップ講座でもハイブリッド型式で行われ、参加人数延べオンライン 25 名、対面 23 名でした。ニューカマー子どもの教室でも学習者数 1 名で合計 43 回行われました。

市民通訳ボランティアにおいても ZOOM を活用件数が特に年度前半に顕著でした。

施設関係ではロビーの照明を全てLED化しました。

またコロナ対策に重点化し、その一環として対面を基本としつつも現況を鑑み、リモート化推進の為の備品も更に充実させ、モニター、サイネージ、パソコンなどを実装し、日本語教室、ニューカマー教室も一部オンライン授業を行い、市ボラ関係、イベント関係などでも活用しています。この先コロナ感染が収束しても、すべてが従来どおりに戻ることはなく、多面的な実装対応能力が必要となり、事業目的に合わせて臨機応変にハイブリッドでも対応できるところは引き続き有効的に実施していきたいと思っております。

未だ収束予測が困難な状況が続いてますが、一日も早く全事業十分な形で再開できることを切望しております。

## 2. 事業計画内容

各種事業の企画実施

### (1) 情報提供相談窓口業務

(ア) 行政機関等との連携を通じた情報収集・提供 (窓口) (委託事業)

日 時 : 随時

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 19 人

受益対象者 : 港北区他在住外国人

支 出 額 : 0 円

(イ) 多言語相談窓口 (窓口) (委託事業)

内 容 : 在住外国人の方々の生活及びその他の相談への情報提供と支援。  
日本語・英語・中国語・台湾語・韓国語・ベトナム語による窓口  
相談対応。

それ以外の言語については YOKE「横浜市多文化共生総合相談センター」との提携による通訳相談業務。

日 時 : 英語・日本語 毎日、ベトナム語 火曜午前、  
韓国語 木曜午前、台湾語・中国語 金曜午前

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 17 人

受益対象者 : 港北区他在住外国人

支 出 額 : 546,928 円

(ウ) 広報・情報誌発行事業 (情報広報) (委託事業)

内 容 : 広報誌「そよ風」等の更なる充実を図るべく情報収集と共にラウンジの活動内容を広く市民および在住外国人に知って頂き、利用促進につながるよう情報発信を行った。

また、在住外国人の生活に役に立つ情報、新型コロナに関する情報などを発信した。

日 時 : 年 4 回 広報紙の発行  
年 4 回 適時情報提供チラシ等の発行

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 9 人

受益対象者 : 港北区民及び在住外国人

支 出 額 : 147,595 円

エ) HP 作成事業 (窓口) (委託事業)

内 容 : HP・Facebook 作成等の事業、各種言語によるラウンジの活動紹介、情報提供 (日本語、英語、中国語、ベトナム語、韓国語)

日 時 : 随時

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 8 人

受益対象者 : 港北区他地域住民と在住外国人

支 出 額 : 7,920 円

(2) 人材の育成支援業務 (委託事業)

ア) 窓口スタッフ人材育成 (窓口)

内 容 : 相談案件対応力育成、デジタル人材育成

日 時 : 通年 3 回

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 19 人

受益対象者 : 窓口スタッフ

支 出 額 : 54,084 円

(イ) 市民通訳ボランティア派遣による通訳、翻訳他の事業 (窓口)

語学ボランティア派遣 : 来日して間もない児童・生徒に対する学校での初期適応支援・学習支援ボランティアの派遣、その他。

内 容 : 市、区役所、保健所、学校などに通訳を派遣

対応言語 : 英語、中国語、スペイン語、インドネシア語、タガログ語、

ロシア語、タイ語、ベトナム語 等

日 時 : 随時  
場 所 : 小中学校, 区役所  
従事者人員 : 17 人  
受益対象者 : 港北区在住外国人  
支 出 額 : 114,932 円

(ウ) 日本語教育ボランティアの養成 (日本語教室)

(ウ-1) 日本語ボランティア養成講座事業 (日本語教室)

内 容 : 外国人への日本語学習支援・指導ができるように日本語教育ボランティアを養成する。

日 時 : 10 月～ 12 月 クラス、5 回、 修了者 : 19 名  
場 所 : 主たる事業所  
従事者人員 : 11 人  
受益対象者 : 港北区民  
委託事業支出額 : 164,537 円  
教室運営収入額 : 104,500 円

(ウ-2) 日本語ブラッシュアップ講座事業 (日本語教室)

内 容 : 外国人への日本語学習支援・指導向上の為の日本語教育ボランティア教育講座をおこなう。

日 時 : 通年 3 回  
場 所 : 主たる事業所  
従事者人員 : 11 人  
受益対象者 : 日本語教室ボランティア  
支 出 額 : 160,721 円

(3) 各種事業の企画実施

ア 日本人多言語理解に関する事業

(ア) 外国語教室事業講座企画運営 (外国語) (委託・自主事業)

内 容 : 「スペイン語」、「フランス語」2クラス、「イタリア語」  
ビジネス英会話 + 夏休み小学生英会話教室 2クラス

講座数 : 全 5 講座 + 2 講座

学習者人数 : 約 63 人、+ 27 名

日 時 : 教室全授業回数 163 回 + 10 回

場 所 : 主たる事業所  
従事者人員 : 5人 (委託)  
受益対象者 : 港北区民他  
委託事業支出額 : 398,512円

(企画運営) 自主事業支出額 : 1,576,319円  
教室運営収入額 : 2,535,900円

(イ) 外国語教室事業おもてなし企画運営 (外国語) (委託・自主事業)

内 容 : 「英会話初級」2クラス

講 座 数 : 全 2 講座

学習者人数 : 30人、

日 時 : 教室全授業回数 ; 66回

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 5人 (委託)

受益対象者 : 港北区民他

(企画運営) 委託事業支出額 : 148,416円  
自主事業支出額 : 593,999円  
教室運営収入額 : 1,089,000円

イ 多文化共生と国際相互理解に関する事業 (委託事業)

(ア)

(1) 外国人と日本人の交流事業 - 機会の提供 (交流企画)

(アー1~5) スポーツ、音楽、食等の交流及び在住外国人による異文化紹介

内 容 : 交流イベント(ワークショップ、演奏会他リモートイベント検討含む)

日 時 : 年 3回、4月、5月、1月 (8月、2月は中止及び延期)

場 所 : 主たる事業所

従業者人員 : 20人

受益対象者 : 港北区民他

支 出 額 : 76,667円

収入額 (参加費) : 18,300円

(2) 日本文化体験事業 (交流企画)

日本の文化、習慣等の紹介びに、伝統文化イベント体験等を通じて地域住民と外国人との異文化交流、相互理解を深める。

(ア-1)

内 容 : 日本伝統文化 (華道、茶道、書道) を通じて国際交流を図る

華道教室 2 回/年間

茶道教室 3 回/年間

書道教室 2 回/年間

計 教室 7 回/年間

日 時 : 4月、5月、6月、7月×2、9月、10月、11月×2、1月、2月

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 6 人

受益対象者 : 港北区他在住外国人

支 出 額 : 83,961 円

収入額 (参加費) : 6,200 円

(ア-2) 多文化ママカフェ

(国際理解)

内 容 : 子育て中の外国人親子の交流・情報提供の場

日 時 : 4月～翌3月 年間計 20 回

参加者数 : 平均 6 組

場 所 : 主たる事業所 またはオンライン (Zoom)

従業者人員 : 5 人

受益対象者 : 港北区他在住外国人

支 出 額 : 3,163 円

(イ) 異文化理解の機会 (国際理解教室事業)

(国際理解)

外国人と地域住民との異文化交流イベントの開催

内 容 : 「小学生の為の国際理解教室 3 月 参加 20 人

日 時 : 年 1 回

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 7 人

受益対象者 : 港北区民

支 出 額 : 14,338 円

(ウ) オリンピック

(窓口)

内 容 : オリンピック応援イベント「英国について」

日 時 : 年 1 回、6 月

場 所 : 主たる事業所 (Zoom によるオンラインとのハイブリッド)



従業者人員： 7 人  
受益対象者：港北区民他  
支出額： 14,652 円

ウ 外国人支援に関する事業 (委託・自主事業)

区内在住外国人対象 日本語教室支援事業

(ア-1) 日本語教室事業 (日本語教室)

内 容：在住外国人への日本語学習指導  
学習者数：平均 10 人/クラス、延べ 3,201 人、  
32ヶ国  
ボランティア数：参加平均/週 106 人、延べ 3,832 人  
学習日数： 326 日 (平均 36 日/クラス)  
日 時：毎週 (日・月・火・火夜・木・木夜・金・土・日吉)  
場 所：主たる事業所、日吉地区センター  
従事者人員： 139 人 (+窓口1人)  
受益対象者：港北区他在住外国人  
委託事業支出額： 1,001,787 円 自主事業支出額 618,433 円  
(企画運営共通費) 教室運営収入額 367,200 円  
収入額 (保育費)： 6,700 円

注釈：(ア-1) 日本語教室事業の人数、収入、支出の金額には (5) ラウンジ運営や事業実施に於けるリモート化促進に関する事業の (ア-1) 日本語教室事業リモート授業に記載した、人数、金額が含まれています。

(ア-2) 日本語専門講座事業 (日本語教室) (自主事業)

内 容：就学、就労目的での日本語学習者への研修実施  
「日本語能力試験 N1, N2, N3 対策講座」開講  
受講者 N1 6 人、N2 11 人、N3 10 人  
日 時：クラス、各 24 回、合計 126 回  
場 所：主たる事業所  
従事者人員： 4 人  
対 象 者：港北区他在住外国人  
自主事業支出額： 270,394 円  
教室運営収入額： 216,000 円

(イ) 外国人子どもの学習事業 (ニューカマー) (委託事業)

内 容 : 重点目標として

- ・漢字や計算など基礎学習の充実
- ・高校受験対策強化
- ・ボランティア研修
- ・学校や保護者との連携
- ・読書奨励

学習者人数 : 20人

学習支援回数 : 36回

日 時 : 毎週 (土)

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 20人

受益対象者 : 港北区他在住外国人の子ども

支 出 額 : 102,468 円

(4) 地域近隣施設、合築施設との連携事業 (委託事業)

(ア) 広く区民対象の国際交流事業 (窓口) (委託事業)

(ア-1) ふれあいまつり

内 容 : 「港北区民まつり」への参加による国際交流。  
「ふるさと港北ふれあいまつり」世界のお国紹介など。

日 時 : 年 1回 11月

場 所 : 横浜アリーナ

従事者人員 : 10人

受益対象者 : 港北区民及び在住外国人

支 出 額 : 0 円

(ア-2) ワクワクまつり (窓口)

内 容 : 年に一度の「ワクワクまつり」をオンラインで開催。ラウンジ紹介、日本語スピーチ、ミニ外国語教室、交流イベント紹介、世界のファッションショー、リモートアンサンブルなどの動画を作成し公開。写真展の開催。

日 時 : 年 1回、12月1日 ~14日

場 所 : 主たる事業所 およびオンライン (YouTube)

従業者人員 : 約 100人

受益対象者 : 港北区他在住外国人、他

支 出 額 : 103,498 円

(イ) 永年勤続表彰

内 容 : 20年34名並びに10年8名継続して活動していただいたボランティアを表彰し記念品を授与  
日 時 : 年 8 回、10 月から11月  
場 所 : 主たる事業所  
従業者人員 : 42 人  
受益対象者 : 港北区他住民  
支 出 額 : 169,422 円

(5) ラウンジ運営や事業実施に於けるリモート化促進に関する事業 (委託・自主事業)

内 容 : 日本語教室、ブラッシュアップ講座、部会代表者会議、養成講座説明会、外国人子どもの学習、情報提供、リモートイベント相談業務等でリモートで対応。機器設備拡充。  
日 時 : 適宜実施  
場 所 : 主たる事業所  
受益対象者 : ボランティア、港北区他地域住民と在住外国人、その子ども  
支 出 額 : 533,352 円

<下記内容項目内訳>

(ア-1) 日本語教室事業リモート授業 (日本語教室)

内 容 : 在住外国人への日本語学習指導  
学習者数 : 平均 3 人/学習日1クラス参加人数、延べ 463 人  
ボランティア数 : 参加平均/週 10 人、延べ 436 人  
学習日数 : 183 日 (平均 26 日/クラス)  
日 時 : 毎週 (日・火・火夜・木夜・金・土・日吉)  
場 所 : 主たる事業所、日吉地区センター  
従事者人員 : 16 人 (+窓口1人)  
受益対象者 : 港北区他在住外国人

(ア-2) 日本語教室事業 (日本語教室)

内 容 : ブラッシュアップ講座  
日 時 : 年 1 回  
場 所 : 主たる事業所他

	ハイブリッド形式	オンライン	対面
	7月4日	15名	14名
	7月12日	10名	9名

従事者人員： 11 人

受益対象者：港北区民

(ア-3) 日本語教室事業

(ニューカマー教室)

外国人子どもの学習事業 リモート授業

内 容： 漢字や計算など基礎学習の充実

学習者人数： 1 人

学習支援回数： 43 回

日 時：毎週（土）

場 所：主たる事業所

従事者人員： 1 人

受益対象者：港北区他在住外国人の子ども

(ア-6) 情報提供

(情報広報) (委託事業)

内 容： 「在住外国人等のラウンジのリモート利用に関する情報を広報誌を通じての発信する。」 項番（1）（ウ）に含む

(ア-7) リモートイベント

(窓口・日本語教室)

(委託事業)

内 容： （前項イのアの①に含む）、前項イの（ウ）、日本語教室クラスイベント

(ア-8) 相談業務のリモート

(窓口)

(委託事業)

内 容：市民通訳ボランティア通訳

「小学校、中学校からの通訳依頼に ZOOM を利用して対応

(6) 新型コロナウイルス感染症対策に関する事

(窓口)

(委託事業)

(ア-1)

内 容： 「消毒液、アルコール除菌シート、薬用石鹸 等」

日 時：適宜

場 所：主たる事業所

受益対象者：港北区民及び在住外国人

支 出 額： 82,291 円

(ア-2)

(情報企画)

内 容： 「ウィルス蔓延防止策、感染予防策に関する情報を在住外国人向

けに広報誌を通じて発信する。項番(1)(ウ)を含む

(7) 20周年記念誌・記念品作成 (自主事業)

内 容 : 20周年記念誌「虹色ハーモニー」作成・発行 1000部

日 時 : 11月発行・配布

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 10人

受益対象者 : 港北区民及び在住外国人

支 出 額 : 526,744円